

# 協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL &amp; FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: [dha\\_epa@par.odn.ne.jp](mailto:dha_epa@par.odn.ne.jp)

事務局 南部 章

## 道東でのイワシ巻き網漁が終了

道東でのイワシ巻き網漁が10月末に終了しました。北海道まき網漁業協会によりますと、速報値として2020年のマイワシ漁獲量は24万8,000トンに達するとのこと。2019年の水揚げ量が21万8,171トンですから、14%の増加になります。昨年の道東海域での漁獲枠が25万トンですので、ほぼ漁獲枠に添った水揚げが実現したことになります。水揚げが28年振りに20万トンを越えた一昨年よりも更に増加したことにより、今後の資源量増加を期待したいところです。

道東では6月下旬から操業が開始され、水揚げは順調に推移し10月初めには操業許可を持つ24船団全てが終了しました。魚体サイズは平均すると50グラム前後と昨年よりも小さく、主に魚油・魚粉向けとして処理され、平均魚価はキロ当たり30円前後だったようです。

過去を振り返りますと、太平洋マイワシの漁獲量は、1983年から1989年までは250万トンを超えました。1995年から2001年は10万トンから30万トンで推移し、2002年から2010年にかけては10万トンを下回りました。道東でマイワシの水揚げが復活した2011年以降は、漁獲は増加傾向にあります。

ただ、今後、マイワシ資源が増大していくかどうかとなると、まだ、はっきりしていないようです。マイワシ資源が高水準期の1980年代の漁場海域は、関東近海から道東に向けた広い海域で、それに比較して現在のところ、そこまでは至っておりません。また、産卵海域も拡大し薩南海域にまで広がりましたが、顕著な産卵海域の拡大は見られておりません。このような状況から、漁獲量は増加しているものの今後の資源拡大については今のところはっきりしていないということになるかと思えます。

資源保護について、政府は2018年に漁業法を改正し、新たな資源管理体制を構築し、持続可能な漁業を目指しております。しかしながら、その一方で外国漁船による操業も増加しており、北西太平洋公海域の外国漁船による漁獲はNPFC(北太平洋漁業委員会)への報告で、2019年の日本のマイワシの漁獲量が52万トンに対して、ロシア・中国の同資源に対する漁獲量は約18万トンでした。今後はマイワシ資源の動向に加えて、両国の動静も気に掛かるところです。

《幹事会のうごき》 令和3年1月15日(金)に開催された本年度第9回幹事会は新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、ZoomによるWeb会議とした。

- ・次年度通常総会について、具体的な実施方法を検討した。また、総会講演会についても講師選定を行った。
- ・次年度の事業計画について、意見が述べられた。

## 《2020年12月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2020年12月			2020年1月～12月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,630	451,333	276.9	22,572	4,735,283	209.8

## 《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2020年12月	2020年11月	2019年12月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	1,864	1,880	1,683

## 《情報》チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2021年第4週	2021年第3週	2021年計(第4週まで)	2020年計(第4週まで)
チリ	31,451	25,523	105,460	120,736
ペルー	1,250	59,876	430,995	14,578